

神戸で「日本デイケア学会」、2日間で420人参加 兵庫県で初開催

2025/1/8 16:15 



社会 神戸



大会長を務めた作業療法士で神戸大大学院保健学研究科の四本かやの准教授＝神戸市中央区港島中町6、神戸商工会議所会館



デイケア（通所リハビリ）に携わる医師や看護師、精神保健福祉士らが集まる「日本デイケア学会」の年次大会が昨年12月、神戸・ポートアイランドの神戸商工会議所会館で開かれた。2日間で約420人が参加し、利用者のための施設の在り方などを考えた。

デイケア従事者の学びを深めて、情報交換する機会にしようと、1996年から開催している。全国で開いており今年で29回目。兵庫県での開催は初めてという。

大会長は神戸大大学院保健学研究科の四本かやの准教授が務めた。作業療法士の四本准教授は講演で、デイケアを長期的に利用する人には慣れや「他に行きたい所がない」との理由が目立つと指摘した。

その上で、本来はリハビリという側面がある施設として「デイケアには希望が欠かせない」と強調。「デイケアは安全で安心な『器』。私たちが自分の仕事に興味を見だし、利用者に希望を与えられるようになりたい」と呼びかけた。

大会は「リカバリーするデイケアー個人の希望と集団の力」と題した講演など66の演題があり、利用者同士の座談会などの企画もあった。（千葉翔大）

神戸で日本デイケア学会

県内初開催 医師、看護師ら420人参加

デイケア(通所リハビリ)に携わる医師や看護師、精神保健福祉士らが集まる「日本デイケア学会」の年次大会が昨年12月、神戸・ポートアイランドの神戸商工会議所会館で開かれた。2日間で約420人が参加し、利用者のための施設の在り方などを考えた。

デイケア従事者の学びを深めて、情報交換する機会

にしようと、1996年から開催している。全国で開いており今年で29回目。兵庫県での開催は初めてという。

大会長は神戸大大学院保健学研究科の四本かやの准教授が務めた。作業療法士の四本准教授は講演で、デイケアを長期的に利用する人には慣れや「他に行きたい所がない」との理由が目

立つと指摘した。

その上で、本来はリハビリという側面がある施設として「デイケアには希望が欠かせない」と強調。「デイケアは安全で安心な『器』。私たちが自分の仕事に意味を見いだし、利用者に希望を与えられるようになりたい」と呼びかけた。

大会は「リカバリするデイケア―個人の希望と集団の力」と題した講演など66の演題があり、利用者同士の座談会などの企画もあった。

(千葉翔大)